

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：款：土木費 項：土木管理費 目：土木総務費

事業名【新】三次元データの活用計画策定業務

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設情報係 電話番号：058-272-1111(内4570)

E-mail：c11656@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 R5要求額 10,355 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R5 要求額	10,355	0	0	0	0	0	0	0	10,355
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・県では、ICT活用推進のため、平成29年度よりICT活用モデル事業に着手し、令和3年度までに約200現場において取り組みを実施した。ICT工事の実施に伴い、現場管理のために取得した三次元データは、工事成果物として納品されているが、その保管・利活用のための仕組みが整っていない。

・近年、自然災害が激甚化・頻発化しており、速やかな被災状況の把握と、復旧計画の立案が求められているが、被災前の状況の把握に必要な地形データの蓄積ができていない。

・また、インフラの老朽化が進行しており、各種の点検など実施しており、三次元データの取得がされているが、その蓄積・利活用の方法が整っていない。

以上をふまえ、三次元データの保管・利活用の計画を策定する必要がある。

(2) 事業内容

インフラ施設の適切かつ、効率的な維持管理を行っていくためには、各種工事、業務により取得される3次元データの利活用が非常に有効な手段である。

このため、三次元データの有効活用に向けた計画を策定し、保管・利活用に関する仕組みの整備に向けた取り組みを開始する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・財源は補助は無く、県負担のみである。

(4) 類似事業の有無

埼玉県 (R3年度)

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	10,355	三次元データの活用計画策定業務
合計	10,355	

決定額の考え方

国の動向を注視して、今後の必要性を検討する必要があるため、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画」 (令和4年3月公表)

(2) 他県の状況

- ・東京都、山梨県、富山県、石川県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、徳島県、長崎県では、三次元データを活用するシステムを導入し、データの二次利用を進めている。
- ・東京都、静岡県及び兵庫県では3次元データの活用システムの構築が完了している。

(3) 後年度の財政負担

- ・三次元データの保管や更新のためのシステム及びデータの保守管理業務の費用が発生する見込みである。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・事業主体は県。
- ・取得した3次元データは県の所有物であるため。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・令和5年度中までに、3次元データ活用計画を策定する。
- ・策定した計画に基づき、令和6年度中に要件定義と大筋協議を行い、令和8年度にシステム構築、令和9年度からの全面導入を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	
					目標	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

特に指標となる数値はない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価)	<p>インフラ施設の適切かつ、効率的な維持管理を行っていくためには、各種工事、業務により取得される3次元データの利活用が非常に有効な手段である。</p> <p>このため、三次元データの有効活用に向けた計画を策定し、保管・利活用に関する仕組みの整備に向けた取り組みを開始する必要がある。</p>
3	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・三次元データを保存・活用するための機器費が必要となる。 ・三次元データを更新するための業務フローを作成・周知し、確実にデータ更新を行うようにする。 ・三次元データを活用するための要領を定める必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・生産性向上のためICT工事が増えていくなか、三次元データを保管・活用する仕組みが整っていない。そのため、三次元データを一元管理し、職員がサーバーからダウンロードして利活用できる仕組みを構築し、業務の効率化を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	